

物流不動産 最大手プロロジス
GRESB 調査で日本初の世界 1 位に選出
～DJSI でもサステナビリティに優れた企業として組み入れ銘柄に～

物流不動産の所有・運営・開発のリーディング・グローバル企業であるプロロジス(NYSE: PLD、日本本社: 東京都千代田区丸の内)は、企業の ESG (Environmental Stewardship=環境への取り組み, Social Responsibility=企業の社会的責任, Governance =ガバナンス)とサステナビリティ(事業活動の持続可能性)を評価する世界二大機関から高く評価されたと発表しました。

このたび評価を受けたのは、2016 年度の GRESB 調査(グローバル不動産サステナビリティ・ベンチマーク)および DJSI(ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インデックス)の北米版とアジア太平洋版です。

<GRESB による評価>

GRESB 調査は、不動産会社・運用機関のサステナビリティを測る年次のベンチマーク調査で、上場・非上場企業の不動産会社やファンドを対象に、環境・社会・ガバナンスへの配慮とサステナビリティについての審査が行われます。

2016 年は、世界全体で 759(うち日本市場からは 46)の 不動産会社やデベロッパー、上場 REIT や不動産私募ファンドが参加しました。「商業施設」「オフィス」「物流不動産」「住宅」「混合」のセクター別や、地域単位で評価され、プロロジスグループは以下の評価を受けました。

- 日本プロロジスリート投資法人が、物流不動産セクターで世界 51 社中 1 位(グローバル・セクター・リーダー)となりました。日本の不動産市場において、初のグローバル・セクター・リーダーです。
- プロロジスが展開するすべての地域(南北アメリカ、ヨーロッパ、アジア)において、プロロジスとプロロジスが運営するファンドが、物流不動産セクターで 1 位(セクター・リーダー)の評価を受けました。
- 調査に参加したプロロジスグループの法人およびファンド 9 つ(プロロジス、日本プロロジスリート投資法人、ヨーロッパで運営中の 4 つのファンド、北米で運営中の 3 つのファンド)すべてが、GRESB の最高評価である「グリーンスター」認証を取得しました。(昨年は 7 つが「グリーンスター」認証を取得)



<DJSIによる評価>

DJSI は、企業のサステナビリティ評価において世界的に権威のある指標です。1999 年に S&P Dow Jones Indices 社とスイスの RobecoSAM 社が体系化し、サステナビリティに優れた企業を年次調査で選出し組み入れ銘柄を発表しています。

- プロロジスは、2016 年の DJSI では、北米版とアジア太平洋版において組み入れ銘柄として選ばれました。プロロジスが DJSI 北米版に選出されるのは 9 回目であり、物流 REIT としては唯一の企業です。DJSI アジア太平洋版に選出されるのは二度目です。

プロロジスでは、全世界で Sustainability(持続可能性)を理念とし、「環境への取り組み」「企業の社会的責任」「企業倫理とガバナンス」を 3 本の柱としています。このたびの結果は、部署や地域を越えたサステナビリティへの取り組みが評価された結果であり、今後も業界のリーダーとして持続可能な事業活動に努めてまいります。

※本資料は、2016 年 9 月 26 日(現地時間)に米国で発表された英文プレスリリースの抄訳です。

本プレスリリースに関するお問い合わせ先
プロロジス 広報室 担当:古川
TEL: 03-6860-9107 / FAX: 03-6860-9020
E-mail: sfurukawa @prologis.co.jp